

【基本施策】

1 1. 歴史・伝統・文化を伝承し創造する

【基本方針】

文化・芸術の振興にあたっては、市民一人ひとりの自主性、創造性が必要であり、市民が心の豊かさを実感し、地域の一員であることを自覚できるように、子どもから高齢者までが、文化・芸術の鑑賞や自らが参加ができる場や機会を提供するための環境整備を進めます。

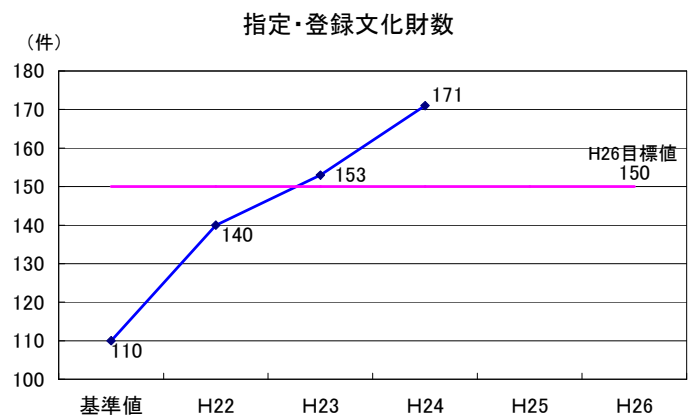
【実施施策】

◇芸術文化の振興 ◇文化財の保護・活用

【施策成果指標】



美術文化の振興を図るための指標として、市美展への来場者の増加を目指します。



文化財の保護・活用を図るための指標として、市内に埋もれている文化財を発掘、調査し、指定・登録文化財 150 件を目指します。

【構成事務事業の達成ランクおよび方向性】

基本施策	構成事務事業の状況												
	実施施策	H24 ランク				H26 方向性							
		A	B	C	小計	事務改善	内容拡大	内容縮小	維持	終了	廃止 休止	統合	小計
歴史・伝統・文化を伝承し創造する	18	1	1	20	0	1	0	17	0	0	2	20	
芸術文化の振興	9	1	1	11	0	0	0	10	0	0	1	11	
文化財の保護・活用	9	0	0	9	0	1	0	7	0	0	1	9	

これまでの取り組み成果

地域の活性化や歴史・文化を活かした新しいまちづくりのため、市内の貴重な歴史的・文化的な試算を幅広く調査し、新たに13件を市指定文化財に指定した。

今北山・磯部・弁財天古墳群の発掘調査や市内の重要遺跡・石碑等の調査、まちかど歴史浪漫コンサートの開催など文化財を活用したイベントの開催、文化財解説看板の設置、ふるさとさばえ検定や間部詮勝プロジェクトの実施など、ふるさと鯖江への愛着心の醸成や情報発信につながる取組を行った。

また、市美展の開催など、文化芸術に対する市民の参加・創造意識を高める機会の拡充を図るとともに、幼少期の文化芸術の体験や感動は、生涯にわたり文化芸術に理解を深める基盤となることから、文化芸術体験教室の開催、子ども文楽交流の実施など、子どもたちが、直接、文化芸術に触れる機会の充実に努めた。

今後の課題

文化振興事業については、まなべの館の活用や内容の充実を図り、新しい企画等を取り入れ実施しているが、単年度の取組みで結果や効果がすぐに期待できるものではないので、できる限りの情報発信に努め地道に事業の継続や積み重ねを行っていくことが必要である。

また、子どもたちの豊かな感性や表現力、創造性を育むことができるよう、芸術文化に直接触れる機会の充実や文化に親しむことができる環境の整備や機会の提供が必要である。

今後の施策展開

市内の貴重な歴史的・文化的な資産を幅広く調査し、市民が中心となって保存方法を考え、後世に引き継いでいく取組みを継続するとともに、一人でも多くの市民が気軽に文化芸術に触れる機会を創出していく。

また、将来を担う子どもたちが、日本古来の伝統文化に触れて、豊かな感性や表現力、創造性を育むことができる機会の提供とともに内容の充実を図る。

また、美術文化の振興を図るため、市美展への出品数と来場者の増加推進を図る。

間部詮勝プロジェクトについては、都市再生整備計画事業を活用し藩主就任200年を節目の年としてさらなる浸透を図る。

【総合評価】

A 政策目標に向けて高いレベルで推移している。

B 政策目標に向けて概ね順調であるが、一部努力を要する。

C 政策目標に向けてあまり順調ではなく、一層の努力が必要である。

D 政策目標の達成には程遠く、全体的な努力が必要である。

〈H24 総合評価：A〉